

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスまはる桜木町		
○保護者評価実施期間	令和7年10月31日 ～ 令和7年11月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	68	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日 ～ 令和7年12月24日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の関わりの丁寧さと信頼関係の構築	職員が一人ひとりの子どもに丁寧に寄り添い、保護者の相談にも親身に対応する姿勢を大切にしています。日々の関わりを通じて信頼関係を築き、安心して任せられる事業所づくりを行っています。	日々の支援の中で大切にしている関わり方や姿勢を、職員間で定期的に振り返り、共通認識として積み重ねていきます。OJTやミーティングを通じて経験や気づきを共有し、職員一人ひとりの関わりの質を安定して維持・向上できる体制づくりを進めていきます。
2	子どもが安心して楽しく通える環境	子どもが「楽しかった」と帰ってくることを大切にし、無理のないペースで集団活動や多様なプログラムを提供しています。小規模な集団の中で、安心して過ごせる環境を整えています。	現在行っている活動や関わりを大切にしながら、子ども一人ひとりにとって安心できるペースや関わりが維持できているかを丁寧に確認していきます。日々の成功体験や「楽しかった」という気持ちにつながっている支援を積み重ね、安心して通い続けられる環境をより安定させていきます。
3	土日祝利用・送迎対応による家庭支援	土日祝の利用や学校・自宅への送迎に対応することで、保護者の負担軽減や家庭の生活リズムの安定につながる支援を行っています。休日も安心して利用できる体制を整えています。	現在の利用体制や送迎対応を継続しながら、職員配置や業務の進め方を工夫し、安定した運営を目指していきます。家庭支援の視点を職員全体で共有し、利用者や保護者にとって安心感のある支援を今後も継続して提供していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全を支える支援体制の標準化と強化	送迎時の安全管理を含む日々の支援について、職員それぞれが経験を積み重ねながら対応してきました。その一方で、より安定した支援を継続していくために、確認方法や判断の視点を事業所全体の共通認識として整理し、特に新しく入職する職員にも段階的に共有できる仕組みづくりが求められている段階にあると捉えています。	送迎時の安全確認や見守りのポイントを整理し、事業所としての共通基準を明確化します。研修やOJT、振り返りを通じて職員間の理解を深めるとともに、新人職員にも支援の考え方や対応の基本が無理なく身につく体制を整え、誰が対応しても一定の安全水準と支援の質を保てる体制づくりを進めます。
2	療育内容と環境整備における支援体制の整理	療育内容や室内環境、来所時の対応について、利用者や保護者からの声を通じて、より分かりやすく整理・共有できる点が見えてきました。現在の取組を土台に、事業所としての考え方をより明確にしていく必要性を感じています。	現在の療育や環境整備を基に、活動内容や支援の意図を整理し、職員間で共通理解を図ります。あわせて、室内での過ごし方や来所時の対応ルールを整え、子どもが安心して過ごせる環境を安定して提供できる体制を整備します。
3	曜日固定利用の中での柔軟な利用体制の整備	今後行っていく曜日固定の運用は安定した支援提供につながる一方、スポット利用を希望される方にとっては分かりにくい面があると考えられます。	曜日固定を基本としながらも、スポット利用を希望される方にも分かりやすく安心して利用いただけるよう、案内方法や受け入れ体制の整理・周知を進めていきます。